

### 株主のみなさまへ



代表取締役社長  
藤井 宗徳

株主の皆様方には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。ここに、第43期（平成27年3月期）の事業の概況をご報告いたします。

#### ■営業の概況

当第2四半期の食品業界におきましては、円安や消費税の増税等の影響により物価が上昇しており、消費者の生活防衛意識が強まるなか、依然として予断を許さない経営環境が続いております。

売上高は、鶏卵関連事業において、鶏卵相場が高く推移したことにより14%増加しました。

損益に関しましては、鶏卵関連事業において、下期の販売が順調に推移する見通しのなか、当第2四半期は、下期に割高な当用買いを抑えるため、鶏卵価格が低く推移した上期に積極的な原料買付けを実施しました。そのため、原料コストや、製品の保管料等の経費が前倒しとなり、営業利益、経常利益、四半期純利益それぞれに前年同期比35%の減益となりました。

#### ■今後の見通し

食品業界におきましては、コンビニ・スーパーの惣菜などの中食需要が増加傾向にあります。

そのため、当社グループの鶏卵関連事業においては、最新設備の導入を進めております。従来の少品種大量生産に中品種中量生産を採り入れ、顧客ニーズに応えることによって、販売が順調に推移する見込みであります。

また、上期の積極的な原料買付けにより、原料・製品在庫が安定し、鶏卵相場が上昇傾向となる時期でも原価が低減し、損益は改善する見込みであります。

中間配当につきましては、5円とさせていただきます。なお、期末配当につきましても5円を予定しております。

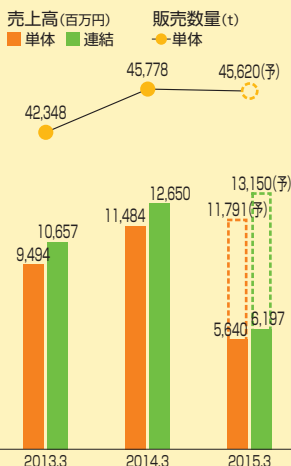
株主の皆様方におかれましても、なお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成26年12月

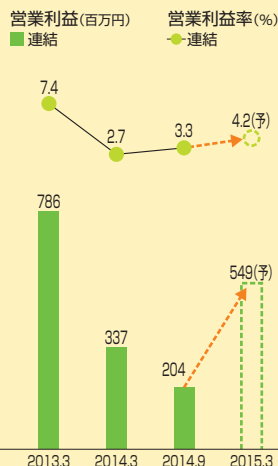


### 決算ハイライト

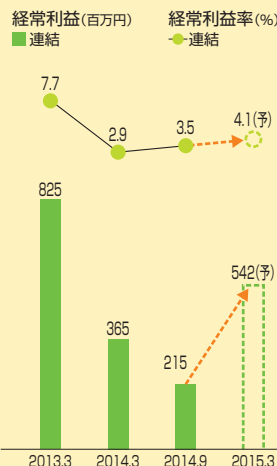
#### 売上高／販売数量



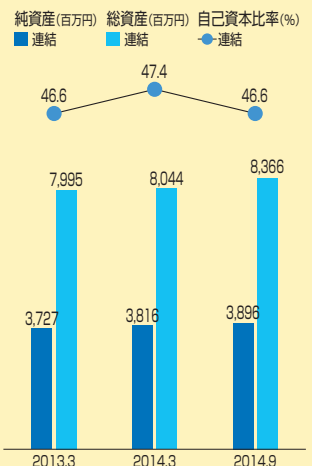
#### 営業利益／営業利益率



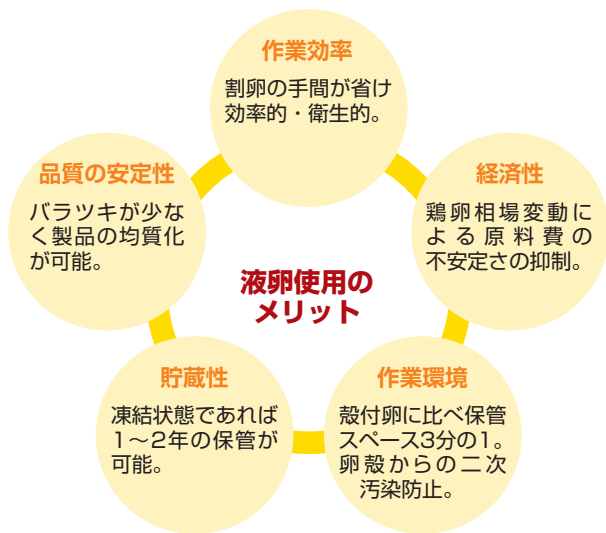
#### 経常利益／経常利益率



#### 純資産／総資産／自己資本比率



# Business Outline



当社は鶏卵をあらかじめ割卵し、「液卵」「冷凍卵」へ製造加工し、主にパンメーカーや菓子メーカー、惣菜メーカー等に販売しております。また、茶碗蒸しベース、ゆで卵の製造販売等も行っております。

「液卵」…鶏卵から卵殻を除いたものであり、形状が液体であることから液卵と呼ばれております。

## 液卵・冷凍卵の種類と用途

品 種	種 別	殺菌の有無	生・凍結	主 な 用 途
全卵	ホール	未殺菌	生	ケーキ、シュークリーム、パン、洋菓子、和菓子
	全卵	殺菌・未殺菌	生・凍結	パン、ビスケット、玉子焼、玉子とうふ、茶碗蒸し
	加糖全卵	殺菌	生・凍結	ケーキ、洋菓子
	調整全卵	殺菌	生・凍結	パン、ビスケット、クッキー
卵黄	卵黄	殺菌・未殺菌	生	洋菓子、和菓子
	加糖卵黄	殺菌	生・凍結	洋菓子、和菓子
	加塩卵黄	殺菌	凍結	マヨネーズ
卵白	卵白	殺菌・未殺菌	生・凍結	練製品、洋菓子、和菓子
	製薬用卵白	殺菌・未殺菌	生・凍結	洋菓子、和菓子

## 商品ラインナップ



液卵



ホール



卵黄



全卵



卵白



茶碗蒸しベース



冷凍卵



冷凍卵ミニパック・全卵



冷凍卵ミニパック・加糖卵黄



冷凍卵ミニパック・卵白(未殺菌)



冷凍卵ミニパック・卵白(殺菌)PCW00



冷凍卵ミニパック・卵白(殺菌)PCW01

## Pick-UP

### 事業所内託児所で 仕事と育児の両立を支援

当社福岡・関西・関東事業部の事業所内に託児所を設置し、従業員の仕事と育児の両立を支援しています。待機児童の解消が問題となっている中、



事業所内の託児所に預けられることで、安心して仕事に集中できると好評です。

### 卵の殻を乾燥粉碎して再利用

環境保全の取り組みの一環として、年間約4,000t発生する卵殻の再利用を進めています。肥料・飼料用などに販売しているほか、卵殻乾燥粉碎機を設置し粉状で提供。グラウンド用白線、野球場で使われるロジンバッグ、チョーク、陶器などに生まれ変わり、再利用されています。



# ニーズに応える安定供給

## 三位一体の供給体制

製造

安定品質を確保  
HACCPに準拠した工程管理  
最新鋭設備導入

購買

独自の購買体制を構築  
需給調整機能  
安定買い付け

流通

全国配送を実現  
全国4工場のネットワークで万全の配送体制



名古屋事業部



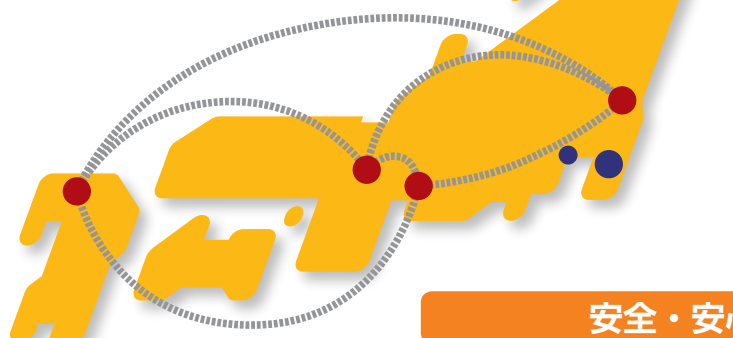
関東事業部



関西事業部



福岡事業部



グループ会社：日本化工食品㈱  
調味料関連事業の柱として、当社と共に成長



日本化工食品㈱千葉工場

## 安全・安心のために

### ■独立系最大手の強みを活かして

食の基本インフラとも言うべき卵市場は、安定した成熟市場。その中であって、液卵をはじめ卵加工品市場は、食の多様化とともに着実に広がっています。当社は、そんな液卵市場のシェアを分け合う大手メーカーの中で唯一の独立系メーカー。系列に縛られない自由な経営環境のもと、地域密着・顧客密着の営業体制を確立し、着実な成長を続けてまいります。

### ■お客様重視のネットワーク

当社は、関東、東海、関西、北部九州という大消費地に工場を立地しており、このお客様重視の工場立地政策も積極的な市場開拓を可能にする大きなアドバンテージになっております。



### 品質管理体制

品質管理のさらなる充実を目指して、製造工程における危害分析を行い、重要管理点を常にモニタリングすることで、より安全で衛生的な液卵・冷凍卵を提供できる体制を確立しております。



### 温度管理体制

液卵・冷凍卵の原料となる鶏卵は入荷後8℃以下の冷蔵庫に保管され、割卵後の液卵は、自動記録による温度・時間が監視可能な殺菌機により適正に殺菌。殺菌された液卵は急速に3℃まで冷却・充填後、温度計を搭載した配送車でお客様までお届けしております。

### さらなる安心のために

当社では、安全で高品質の液卵・冷凍卵を製造するためHACCPに準じて、原料入荷からお客様にお届けするまでの工程をシステム管理し、チェック体制を強化しております。このように、安全で安心な製品を提供するため、最新鋭設備を導入し、常に衛生的・効率的に生産できる工場を目指してまいります。

## 連結財務諸表

### ■連結貸借対照表（要約）

（単位：百万円）

科 目	前期末 (平成26年3月31日現在)	当第2四半期末 (平成26年9月30日現在)
【資産の部】		
流動資産	4,097	4,200
固定資産	3,947	4,166
有形固定資産	3,732	3,903
無形固定資産	11	40
投資その他の資産	203	222
資産合計	8,044	8,366
【負債の部】		
流動負債	2,766	2,783
固定負債	1,461	1,687
負債合計	4,227	4,470
【純資産の部】		
株主資本		
資本金	455	455
資本剰余金	366	366
利益剰余金	2,990	3,067
自己株式	△5	△5
その他の包括利益累計額	8	11
その他有価証券評価差額金	8	11
純資産合計	3,816	3,896
負債純資産合計	8,044	8,366

（注）百万円未満は切り捨てて表示しております。

### ■連結損益計算書（要約）

（単位：百万円）

科 目	前第2四半期累計期間 (平成25年4月1日～ 平成25年9月30日)	当第2四半期累計期間 (平成26年4月1日～ 平成26年9月30日)
売上高	5,399	6,197
売上原価	4,332	5,220
売上総利益	1,066	977
販売費及び一般管理費	747	772
営業利益	319	204
営業外収益	23	20
営業外費用	9	10
経常利益	334	215
特別利益	-	1
特別損失	0	4
税金等調整前四半期純利益	334	212
法人税、住民税及び事業税	112	89
法人税等調整額	△2	△21
四半期純利益	223	143

（注）百万円未満は切り捨てて表示しております。



